



富士河口湖町

平成20年11月6日発行 第20号

議会だより



町内の小学校3年生が社会科勉強の一環として、役場など公共施設の見学を行っています。

- ・総合窓口課をはじめ役場の全課を訪れました。仕事の内容などの説明を受け、ノートに記録し授業に役立てています。
- ・町民の皆さんも、一度議会定例会の傍聴に訪れて見てはいかがでしょうか。
(写真は10月3日に勝山小学校の児童が議場を見学した時の一コマです。)

- | | |
|------------------|---------|
| ◆議長就任あいさつ | 2P |
| ◆委員会の構成が決まりました | 3P |
| ◆こういうことを決めました | 4P～5P |
| ◆ここが聞きたい | 6P |
| だいひょう・いっぱい質問 | ～9P |
| ◆決算特別委員会 | 10P～11P |
| ◆窓・議員活動状況報告・編集後記 | 12P |

9月
定例議会

議長に 流石市朗議員



副議長に 古屋一哉議員



第三回定例議会の最終日の九月二十六日に、第七代議長に流石市朗議員が、また、副議長には古屋一哉議員が選任されました。

議長就任あいさつ

富士河口湖町議会議長

流石市朗

新町、富士河口湖町が誕生し、早いもので四年十ヶ月（上九南部二年九ヶ月）が経過しました。

地域格差のない誰もが合併してよかったと思えるような新町づくりに向かって諸事業が行われているところであります。

この度九月定例議会において議員全員のご推挙をいただき、議長の要職に尽かさせていただきました。身に残る光栄であり、感謝申し上げます。また、そ

の重責を痛感しているところであります。もとより、浅学非才、非力ではございますが、この上は一層精進に努め、誠心誠意議会活動に尽くす所存であります。

議長として中立、公平はもとより、活発な開かれた議会運営を行っていきたいと考えているところです。

アメリカのサブプライム住宅ローン問題に端を発する金融混乱は世界、日本経済に深刻な影響を及ぼし地方経済にも影を落としているところです。

このような状況下ではありますが、活力あふれる安定した『富士

河口湖町』づくりに議会は町民の立場に立ち、執行側の政策、行財政運営に対し、チェック機能をより深めていかなくはなりません。また、お互いの理解ある協調姿勢のもと住民のためのまちづくりが必要であります。

今後とも町議会に対し町民の皆様方の一層のご指導と併せて協力をお願い申し上げます。任の挨拶と致します。



▲ 湖畔に咲く秋明菊と富士

委員会の構成が決まりました。

総務、文教社会、産経土木の各常任委員会及び議会運営委員会等の各委員会の委員の選任が行われました。

総務常任委員会委員	◎梶原義美 古屋一哉	○外川正純 熊谷義行	流石市朗	駒谷隆利
文教社会常任委員会委員	◎倉沢鶴義 渡辺周次	○渡辺一正 三浦康夫	高山泰治 渡辺金一郎	渡辺武彦
産経土木常任委員会委員	◎大石真六 小川清治	○小佐野弘士 渡辺余緒治	古谷芳信 渡辺袈裟一	堀内弘一
議会運営委員会委員	◎高山泰治 渡辺一正	○古谷芳信 大石真六	倉沢鶴義 梶原義美	渡辺余緒治
議会だより編集特別委員会委員	◎堀内弘一 駒谷隆利	○梶原義美 渡辺袈裟一	倉沢鶴義 外川正純	古谷芳信
監査委員	渡辺金一郎			

富士五湖広域行政事務組合議会議員	倉沢鶴義	小佐野弘士	渡辺周次	梶原義美
山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員	堀内弘一			
青木ヶ原衛生センター議会議員	古谷芳信 古屋一哉	駒谷隆利 三浦康夫	堀内弘一 梶原義美	渡辺周次 渡辺余緒治 渡辺袈裟一
鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合議会議員	倉沢鶴義 小川清治	小佐野弘士 古屋一哉	渡辺武彦 渡辺金一郎	渡辺周二 外川正純
河口木無山外六字恩賜県有財産保護組合議会議員	高山泰治 駒谷隆利			
河口湖南中学校組合議会議員	小佐野弘士 古屋一哉	渡辺武彦 大石真六	渡辺周次 渡辺金一郎	小川清治 外川正純 渡辺余緒治
青木が原ごみ処理組合議会議員	倉沢鶴義	流石市朗	三浦康夫	熊谷義行 渡辺袈裟一
農業委員会委員	小佐野弘士			
河口湖治水委員会委員	倉沢鶴義 駒谷隆利	小佐野弘士 堀内弘一	高山泰治 大石真六	渡辺武彦 三浦康夫 流石市朗 外川正純
湖南水道事業常任委員会委員	倉沢鶴義 渡辺一正	小佐野弘士 大石真六	小川清治	古屋一哉
消防委員会委員	堀内弘一	渡辺一正	三浦康夫	熊谷義行
都市計画審議会委員	高山泰治	渡辺周次	三浦康夫	梶原義美
国民健康保険運営協議会委員	駒谷隆利	渡辺余緒治	古屋一哉	渡辺一正 渡辺袈裟一
地下水保全審議会委員	古屋一哉	外川正純		
温泉事業運営審議会委員	駒谷隆利	渡辺周次	古屋一哉	
公共下水道審議会委員	駒谷隆利	小川清治	渡辺余緒治	三浦康夫 渡辺袈裟一
山梨赤十字医療施設経営審議会委員	小佐野弘士	高山泰治	渡辺周次	古屋一哉 熊谷義行
地域審議会委員	倉沢鶴義 堀内弘一	小佐野弘士 渡辺周次	高山泰治 三浦康夫	古谷芳信 熊谷義行 流石市朗 渡辺袈裟一
地域振興協議会委員	小佐野弘士 堀内弘一	高山泰治 渡辺余緒治	渡辺武彦 大石真六	駒谷隆利
富士山文化遺産登録研究・検討特別委員会	◎倉沢鶴義	○小佐野弘士		

(注) ◎委員長、○副委員長

◎平成二十年第五回臨時議会が七月十六日に開会され、提出された案件は、国民健康保険条例の一部改正、勝山小中学校屋内運動場耐震補

こういうことを決めました。

7月臨時議会
9月定例議会

強・改修工事請負契約の締結。一般会計補正予算（第三号）は二件で、過年度の税の還付金として六百万円、県のポンプ操法大会出場のための需要費の補正に五十万円が計上され、審議の結果原案のとおり可決した。

補正予算

員条例、職員の勤務時間や休暇に関する条例、手数料条例、本栖猟区設置条例、下水道条例のそれぞれの一部を改正した。

定例会初日の十日、本会議場において慎重審議の結果原案のとおり可決した。内容は次のとおりである。

◎老人保健特別会計補正予算（第一号）

針・灸・接骨等にかかった過年度分の医療支給費に三百五十万円を追加。

◎介護保険特別会計補正予算（第一号）

介護保険事業における給付費の不足が見込まれるため居宅介護費と施設介護サービス給付費に二千五百万円、介護予防サービス給付費に百万円、住宅改修費に十万円などを追加が主なものである。

◎下水道事業特別会計補正予算（第二号）

流域下水道建設負担金の変更に伴い三百三万七千円の追加が主なものである。

ある。

◎温泉事業特別会計補正予算（第一号）

七・八月の落雷による3号源泉や他の施設の修繕費として百万円の追加である。

◎水道事業会計補正予算（第一号）

七・八月の落雷被害による船津、小立の水道施設の修繕費として四百八十万円の追加等である。

◎大石簡易水道事業特別会計補正予算（第一号）

大石地区内の県道配水工事本管移設に伴う給水切り替え布設工事費等五百万円の追加が主なものである。

◎一般会計補正予算（第四号）

歳入は地方交付税やまちづくり交付金、県補助金、雑入などの増や町債などがふえた。また、土地地区画整理事業債が減額となり、総額七千四百七十五万七千円が増となった。

歳出は財産管理費に、財政調整基金積立金として四千万円、企画費に二

地域居住対策費などに十三万三千元、地域振興費に水上立ち入り禁止看板設置費として三十三万円、税務総務費に税還付金として二千二百万円、温泉休養施設費に芙蓉の湯ポイラー修繕として十八万円、景観保全費に落雷被害による公衆トイレの修繕に三十九万円、畜産業費にバイオセンサー修繕費として二百七十万円、ジビエ加工施設消耗品などとして百十四万円、同施設の国費対象外備品として四十万円、観光費に三つ峠の山小屋環境配慮型トイレ施設整備費補助金として百万円、道路新設改良費にインター線道路路面排水工事として千八百万円、乳ヶ崎線新設改良工事用地測量費として千七百七十二万三千元、公園費に総合公園の遊具の点検や町民プール排水メーター器の設置、八木崎公園入り口花壇整備など百六万八千円、河口湖船津地区整備事業費に大久保地区ふれあい広場家屋補償費調査時点修正委託料、街なか歴史解説サイン設置工事費など四百四十五万八千円、河口湖南部地

請願

◎道路整備財源確保に関する請願（発議第二号）

活力と個性にあふれた地域づくりの推進と、災害や地震に備え安全な道路を確保することから、基幹道路の整備や生活道路の安全対策など主要道路の早期整備を図るための要望

同意案件

▼河口湖治水委員の選任同意

船津 渡辺武彦氏

▼湖南水道事業常任委員の選任同意

勝山 倉沢鶴義氏

船津 渡辺一正氏

船津 小川清治氏

▼監査委員の選任同意

船津 渡辺金一郎氏

平成十九年度 決算を認定

平成十九年度富士河口湖町一般会計及び三十二特別会計の決算認定について九月十一日から二十二日までの十二日間に亘って決算特別委員会審査を行ない、二十四日の本会議で原案のとおり認定した。

一般会計の財政運営は、総体的にみて健全であり適切に運営されている。歳入では、町の財源の基幹となる町税は各税目とも増加し、十八年度比九・九％の増で、歳入に締める割合は三十七・五％となり昨年より四・五％増加した。大きな要因は三位一体改革による税源移譲による増加と定率減税の増加であるが、所得等の増加による町民税・固定資産税等の自然増加もある。しかし、不納欠損は前年度に比べ二千五百四十八万増加しており、負担の公平並びに歳入確保の面から慎重かつ厳正な取り扱いを要望。また、収入未済においてもなお

一層の取り組みを期待。歳出については、支出額は百十億一千五百六十八万五千三百三十二円（執行率九五・七％）となっており計画的・効率的に執行されている。

性質別経費の状況をみると人件費は十八億千三百三十三万八千円（構成比十六・四％）、公債費十三億六千四百四十万四千円（十一・九％）、普通建設事業費二十五億五千二百四十万四千円（二十一・八％）であった。

地方債の発行額は、十七億八千万円で歳入に対する依存度は、十五・六％を占めている。また、地方債の現在高は百五十二億四千六百七十七万円となっている。

委員長の報告

原案のとおり認定すべきものと決定したことを報告する。

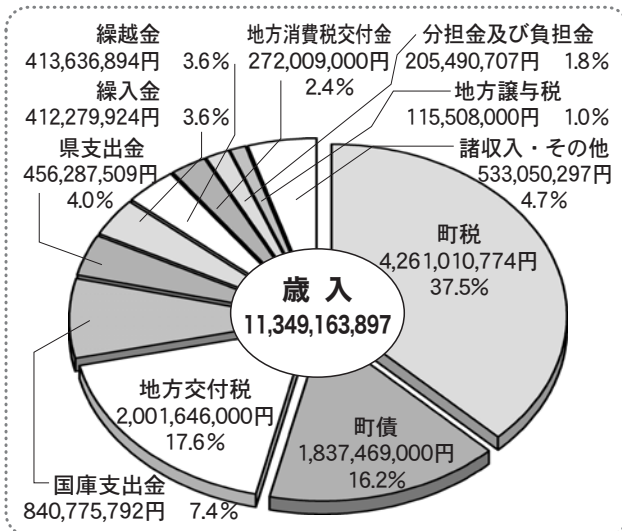
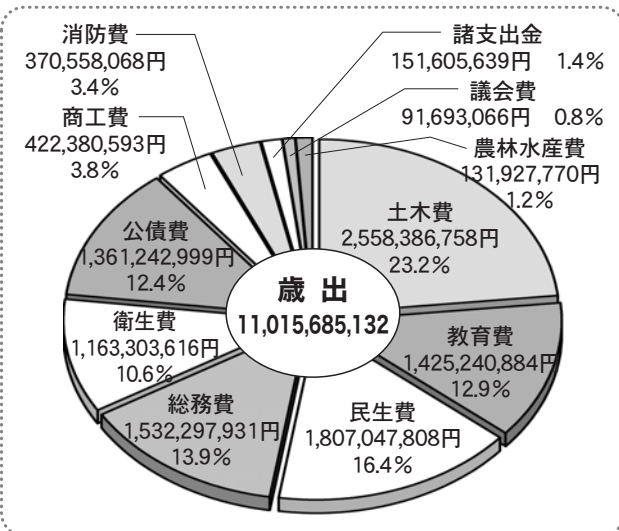
内容は、審査の過程に於いて、委員から数多くの要望や意見等があり、なかでも、景気低迷など財

政厳しい状況の中で、歳入の確保、歳出の削減は行政の取り組みとして大きな課題であると考えられる。

町税や国民健康保険税などの収入未済をはじめ、各事業における使用料等の収入未済の削減に一層努力をされたいこと。各種団体に交付している補助金・交付金の使途について明確で適切に処理されていることの報告を受けること。

収入未済に対する取り組み方として職員全員でしっかりと取り組むことができる体制づくりを行うことや、歳出の削減に取り組むことなどの意見があり、本委員会審査の過程で出された数多くの意見も十分参考にされ、真摯に受け止めていただき対応をお願いしたいこと。委員長の報告があった。

一般会計



特別会計

会計名	歳入総額	歳出総額	議決内容	会計名	歳入総額	歳出総額	議決内容
船津財産区	420,850,934	86,031,483	認定	国民健康保険	2,677,165,023	2,662,029,412	認定
小立財産区	582,882,456	110,624,745	認定	老人保健	1,670,149,191	1,660,837,006	認定
大石財産区	32,760,925	10,807,686	認定	介護保険	1,168,077,018	1,126,095,935	認定
河口財産区	108,909,491	20,329,636	認定	居宅介護支援事業	19,658,726	16,557,675	認定
西深沢他十三恩賜県有財産保護財産区	2,781,109	972,789	認定	船津公園墓地事業	10,499,375	8,721,464	認定
勝山財産区	94,436,593	72,116,444	認定	小立公園墓地事業	10,975,919	6,564,736	認定
長浜財産区	2,396,526	2,271,400	認定	勝山墓地事業	16,050,646	13,202,859	認定
西湖財産区	16,304,635	7,546,935	認定	大石簡易水道事業	48,489,821	37,771,794	認定
大嵐財産区	20,842,953	16,673,462	認定	河口簡易水道事業	42,383,233	25,659,344	認定
青木ヶ原七字及び小倉山七字恩賜県有財産保護財産区	570,238	551,211	認定	足和田簡易水道事業	32,368,635	26,560,765	認定
精進財産区	1,668,685	707,065	認定	上九一色簡易水道事業	371,062,647	356,458,445	認定
本栖財産区	579,032	359,900	認定	下水道事業	1,756,914,455	1,629,451,089	認定
富士ヶ嶺財産区	543,081	325,150	認定	精進特定環境保全公共下水事業	58,087,621	54,845,555	認定
大室山外三十字恩賜県有財産保護財産区	1,704,160	1,405,473	認定	本栖下水事業	13,949,918	13,130,973	認定
小立簡易郵便局事業	9,326,445	5,800,773	認定	温泉事業	41,273,303	35,128,859	認定
河口湖治水事業	50,857,002	14,728,607	認定				

単位：円

ここが聞きたい! だいひょう

質問



会派 政和会
駒谷隆利 議員

会派代表

渡辺武彦
倉沢鶴義
古谷芳信
駒谷隆利
堀内弘一
小川清治
渡辺一正
梶原義美
熊谷義行

町の経済対策と 財源確保

質問

町に關係の深いアーバンコーポレーションは八月十三日に東京地裁に民事再生法の申請をしたが当町への影響は。

当町の事業である観光農業、酪農、小売業、製造業の燃料、原材料の高騰が及ぼす現状について伺い、三月定例議会で、畜産農家への配合飼料価格と燃料価格の高騰対策として、乳用牛導入緊急対策事業と家畜防疫緊急対策事業の緊急支援事業

を進め約半年になるが、効果と現在までに畜産以外で何らかの対策を講じたか。

今後の観光、農業、商業への支援対策を実施する考えがあるか伺い、景気対策について意見交換を行う組織の設置をすることを。また、積極的な国内外への観光の取り組みが感じられ、活動を通じて観光への理解と観光ビジョンが構築されたものと思つが、トップセールの成果と国内観光、国外観光の具体的な政策は。

今後の入湯税推移の見通しを伺い、入湯税確保の対策をどのように試算するか。また、固定資産税を初めとし各税目ごとに調定額と収入見込み額を伺い、また、今後の税収の確保と財源確保の施策は。

答弁

町長 経済対策と財源確保については、観光が主幹産業であるため各事業者への影響は大変大きく、これから秋冬の観光の動向が危惧さ

れ、この状況下、安い、近い、短い旅行の傾向が出ており、動向を的確に把握し、新たな観光戦略を検討していきたい。価格高騰対策として、五千円分の原油高騰対策灯油購入券の交付も、見方を変えれば町民への経済対策の一つと考えている。燃料高騰から来る現状は相当厳しく、本当に血のにじむ努力をされている経営者・住民に行政としてどういうことができるか、いろいろな情報を収集しながら検討していく。

景気対策について意見交換を行う組織の設置については指摘いただいたとおり、前向きに検討対応していきたい。

トップセールの成果は、目的としてキャラバン先の観光地の現状把握等情報収集を行うこと、町の観光情報を発信することであり、継続することによる人間関係の形成がある。トップセールの相手と信頼関係が特に強くなるものであり、今後も継続していく。新たな

な施策としては、富士五湖の情報が必要との要望から、宿泊、見る、食べる、ショッピング等の目的別に一覧し、CDROMを作成し詳細情報を案内できるシステムを構築中。これは他の例のない新たな政策だと思っている。国内観光の具体的な政策としては、六月六日に富士北麓の一市二町三村で富士山・富士五湖観光圏推進協議会を立ち上げ整備計画を策定し、国の認定を受けるべき申請したところであり、当地域が宿泊滞在型の観光地により前進することとなる。また、企業研修の促進を図るため、県の支援と旅行業者の協力をいただき、受身の企業研修から魅力的メニューをつくり積極的に売り込む企業研修へと計画を策定中である。企業研修は平日行われることから、一般観光客との重複が無いことがメリットである。

税収確保と財源確保は、まずは町税、使用料等の徴収率向上、滞納整理に向けてあきらめず全職員

を挙げて積極的に取り組んでいく中、あらゆる角度から研究し徴収力を上げていく。また、優良企業を誘致することを最重要課題の一つとして取り組み、雇用の促進に結び付け人口の増加を図り税収アップにつなげ、自主財源の確保に努めていく。更に、削減に努めていくことも、見方を変えれば自主財源増にもつながるものであり、委託料、随意契約、需用費、維持管理料、補助金等についても精査していく考えである。

答弁

企画課長 経済

対策のアーバン関係、ナンバーワンプロジェクト等については、金融機関の引き上げという中で困難となった。船井財団コンサルタントとまたアーバン、ホリプロ等などの中で河口湖を箱根、軽井沢に負けない地域にしていきたいという民の働きかけがあったが、町については税が完納されることを願っている。

【答弁】 農林課長

畜防疫緊急対策事業は畜産農家自身がワクチン接種の重要性を十分認識しているもので、当初の目的に沿った中で順調に予算を執行している状況である。

【答弁】 観光課長

行政が一体となった旅行商品をつくるという形のものが、これからの地域の活性化にもつながってくるのではないかと思っております、当町への誘客、さらには宿泊にも結びつく新たな観光地づくりということを目指して考えていく。

【答弁】 税務課長

税目ごとの調定額と収入見込み額について、現時点での税収の状況と今年度の見通しは、企業の経済活動や個人消費の停滞や土地、株の下落など景気は低迷して、町を取り巻く環境は非常に厳しい。現時点での町税の収入状況は、八月末現在の個人町民税、また固定資産税などは堅調な伸びを示して

いる。景気の動向に左右される法人町民税は、原油の高騰などを背景として景気の低迷などから前年に比べ落ち込んでいる。このようなことから、若干上回るというような状況である。税収の見通しとして法人町民税や町たばこ税、入湯税及び遊漁税などは、現在の景気動向から極めて厳しいものと予測している。

防災対策の現状

【質問】 六月以降、住民密着型の訓練と自主防災組織の育成をしてきたか。また、上下水道施設の震度六強の地震対策、地震に強い施設整備計画は。

時の食料確保のための連携協定は、企業、事業所など協定は結んでいない。しかし、大規模災害が発生した場合において備蓄食料だけでは到底不足することが予測される。こ

【答弁】 管理課長

災害時の食料確保のための連携協定は、企業、事業所など協定は結んでいない。しかし、大規模災害が発生した場合において備蓄食料だけでは到底不足することが予測される。こ

うしたことから提言をいただいたとおり、企業や事業所と災害時における物資の調達に関する協定等結び、食料品はもとよりほかに必要なとされる生活必需品など、被害者等に供給できるよう体制を可能な限り整えていきたい。

【答弁】 水道課長

今年七、八月は今まで経験のない多くの落雷に見舞われた。上下水道施設で電気設備、電子機器、警報装置等監視装置が被害を受け、給水停止状況に陥った状況がある。多くの被害の状況であったが、落雷被害に対応する中で、水道施設の落雷への対策の遅れを実感するとともに、施設全体の問題点、改善点があることを痛感した。

停電対策は、非常時に安定した水を供給するには、水道水源施設非常用発電装置の設置が必要である。また、地震に強い整備計画だが、重要な施設については耐震性を評価し、低い施設は補修改

良の必要がある。施設の耐震化に多くの時間と費用が必要になるため、適切な優先順位と効率のよい整備方法を考慮する。水道事業の財務状況は非常に厳しく、財務状況の改善も視野に入れながら耐震化に備えるべきと考えている。

下水道施設は構造面の耐震化を図ることが重要であり、まず避難施設など重要な施設につながる管路網の耐震化を進めていく。平成十八年四月に下水道地震対策緊急対策整備事業制度に基づき下水道対策緊急整備計画の作成に着手、その計画により耐震整備を進めていく。また、今年度中に下水道地震災害初動対策マニュアルを策定する計画である。

湖の文化財的価値

【質問】

湖は国有地であり、かつ自然公園法の特

保全されているから、あえて文化財保護をかけるなくてもいいと思うが。

【答弁】 生涯学習課長

湖をコアゾーンにする手順については、湖の価値について検討を行っており、審議内容については、湖と人とのかわり、

先人たちの湖の利用、湖の成り立ちなど多方面から文化的価値の洗い出しを行っている。湖については、広大な面積を有し、また住民の生業等に大きくかわるので、住民説明会等の状況や意見などを踏まえ慎重に審議を進めている状況である。

【再質問】 富士芝桜まつりの大きなイベントがあったときに相当広大な面積が駐車場にされた。またテナントを張りそこで物販販売したところに適正な課税がされているか。また、イベントをしたことにより交通渋滞まで起きた。住民の生活に支障を来したことに對して、町

【答弁】 町長

本栖地区が芝桜ということで大変脚光を浴びたことでは私自身大変ありがたい。今ご指摘のように地元町民に対する迷惑度というのが非常に大きかった。来年に向けて、なお整然と進むように行政としても取り組んでいきたい。

【答弁】 税務課長

十月、十一月に周知書を送付して、一筆調査の業務スケジュールのとり手順を経た上で、平成二十一年度から課税していく。





会派 親樹会

三浦康夫 議員

会派代表

高山泰治

流石市朗

古屋一哉

三浦康夫

指定管理者の条件と

新たな導入は

者を活用するか、直営とするか明確な理由とその説明が必要であると考えている。

質問

公募により民間業者が指定管理者になる

諸条件と、今後町が指定管理者制度を導入する可能性は。

答弁

管理課長 指定管理者の指定を受けようとする者は指定手続等に関する条例第二条により、関係書類をはじめ、管理を行う施設の事業及び収支計画書の提出をしていただき、申請者の中から候補者を選定し、議会議決後に候補者は指定管理者となる。

今後当町の施設で導入する可能性は施設の運営状況や管理内容等をしつかり検証し、新たに設置管理条例を作り指定管理

町内に介護施設の計画は

質問

国の医療費削減のため全国で療養病床二十万病床の削減が決定された。本県でも五年後に県全体で慢性疾患の高齢者が長期入院する療養病床七百三十七床の削減を目標としている。このため、介護施設整備等が進まなければ相当数の介護難民が出ることは必至であり、

当町では、山梨赤十字病院の療養病床を対象に二十一病床が削減されることになる。県は、来年三月までに高齢者の保健福祉施策をまとめ、退院後の

受け皿となる地域の介護施設の整備計画を盛り込んだ新健康長寿山梨プラン作成に着手した。今後、町として地域医療並びに福祉施設等の対策をどのように考えているのか。当町は今後十年以内に高い率で高齢者が増加する。現状の介護施設の入居状況は百五十%以上の飽和状態で有り又待機者も一年以上待っている。国では平成十八年度から地域密着型の特養施設で二十九名までの収容であれば各町村で介護施設の開設が可能であり、国から四千万円の補助金が支給される事が確定である。すでに甲府市、南アルプス市では社会福祉法人が運営している。又、地域密着型の介護施設であれば開設市町村の住民の入居が限定される。当町では近い将来介護施設の計画を検討されるか。

答弁

保険課長 日赤

病院と連携をとり入院患者の心身の状態に合わせ適切な介護医療の提供を確保する及び山梨県が今年三月に策定した山梨県医療適正化計画に基づき今後の地域医療の対策と

して在宅支援診療所をはじめとする医療の普及定着等の推進を図っていく。又、新健康長寿プランの動向を考慮しながら必要な介護サービスを的確に把握し住み慣れた自宅や地域で安心して暮らせるための介護サービス等を地域のニーズに即してできるようにすること及び地域密着型の福祉施設の整備についても検討していく。

答弁

町長 県が来年

三月までに高齢者保健福祉施策の総合的な指針を出すので、当町は介護保健事業計画を見直す中、平成二十一年から三年以内に策定委員会を設置、地域のニーズに合せた地域密着型のサービス等を検討するよう努力をする。

町立北中学校の校舎移転

質問

開校から二十四年が経過し校舎は河口千拓地内に建設され、地盤は湖畔の埋立地のため脆弱であり、校舎、体育館の傷みは著しく、大規模地震が

発生したらどうなるのかと、大石、河口地区の住民は大いなる憂いを持っている。北中の校舎移転を強く提言するが、町の考えは。

答弁

学校教育課長

地盤解析業務委託の報告によると、普通教室棟の南東部、プール部、グラウンド部では、今後五十年間で三センチから五センチ程度の沈下が続く可能性がある。また管理棟、特別教室棟、体育館の沈下はかなり終息しているところある。また校舎については昭和五十九年の建築なので、新建築基準法のもと建てられており問題ないと考えている。現状学校の移転の考えはない。今後はさらに、生徒たちに地震災害時の安全な避難方法等の指導を徹底していくことが必要であると考えている。

区は加入世帯より未加入世帯のほうが若干多いのが現状である。旧上九一色地区にあつては百%の加入状況になっている。現状を踏まえ、未加入世帯を少なくするための町の今までの対応と今後の対策は。

答弁

管理課長 自治会・

区への加入率の低下が見られ、地域活動の停滞や人間関係の希薄にもつながり大変憂慮している。昨年からは自治会加入促進のパンフレット、「自分たちの地域は自分たちの手で、自治会に加入しましょう」を管理課が作成し、総合窓口において転入者等にごみの分け方と出し方などとおわせて配布している。今後の対策としては、町のホームページへの掲載やケーブルテレビのテロップでの放映、広報誌に随時掲載などを行い、自治会についての理解を促し、加入促進を図っていききたい。

自治会未加入世帯への取り組み

質問

自治会への未加入世帯が現状二千九百六十五世帯となっている。地域別に見ると、船津地

事務・事業仕分けの考え方

質問

事業仕分けと

は、事業そのものの必要性や改善の余地、本来の実施主体はどこなのかなど、これまでの事業の進め方について第三者（住民代表等）の視点を交えて、公開の場で検証、議論し、今後の行財政の改革改善に役立てるものである。

今後ますます住民の皆さんに事業事業に対して公に意見や判断を求めていく必要が大きくなっていくと思われる中で、事業仕分けに対する町の考え方と取り組みに向けての町の姿勢は。

答弁 町長 現状、事業の必要性やその規模、効果性等々について論議検討をし、透明性が高くより効果的、効率的な事業の執行に努めている。第三者（住民代表等）の視点からの検証評価をいただく、見直しや改善を行うことは極めて大事であると考えている。

甲府市、都留市をはじめとする事業仕分けの先進地事例の効果等を十分に研究し、町の身の丈に合った取り組みをしていきたい。

基盤整備の基本的な姿勢

質問 町長は議員のときより、基盤整備は何より大切であり、優先的に行うべきだとおっしゃっている。また公約の中でも、基盤整備の重要性を訴えている。

そこで、基盤整備に対する基本的な考え方、最近の町の基盤整備に関する課題についてと、その対応策としての町の考え方、姿勢は。

答弁 町長 総合計画に沿った基盤整備であっても計画どおり取り組むことは極めて難しい状況下にある。継続事業であっても効果の薄いものや計画どおりの進捗にない事業については規模の縮小や休止も行う等、事業の選別と重点化を一層進める。同時に、新規の事業はまず既存施設の積極的な利活用を検討する等、極力あるものを大切にし、最少の費用で最大の効果を上げられるようさまざまな工夫に取り組むことが肝要かと考えている。

これまで整備してきたさまざまな資産の有効活用を図っていききたい。

町営の温泉施設の現状

質問 当町の天然自然温泉は大切な観光資源でありますので、大切に保全しなければならぬ。今後の温泉の保全管理について伺う。

答弁 水道課長 湯量が掘削当時より温泉の湯量が減少しているが、第三源泉があり湯量は十分確保されている。源泉の第一号と第二号は掘削後十年以上経過しており、源泉井戸の清掃及びポンプ等の点検を行う事により、井戸の延命ができるものと思われる。この作業には多額の費用がかかり、今後財政状況を検討する必要がある。

将来に向けて源泉の掘削整備等のため平成十九年九月に、整備基金に八百十万円を積み立て、平成二十年度に一千二百五十万円を積み立てる予定である。

会派 親樹会 関連質問



高山泰治 議員

質問 北中のプールの問題だが、もう使わなくなつて十数年もたつている。利用しないプールがあることは、廃屋施設、残骸とも見られかねない。教育上好ましくないと考える。



町民プールを体育の事業で利用し、敷地内のプールを利用しないならプールを撤去し更地にして校庭に戻すべきと考えるが。

答弁 町長 私もそういう面では大変懸念している。意見を尊重し、今後検討したい。



流石市朗 議員

質問 町長は議員時代に事務事業の仕分けを実施している都留市に訪問をされている。研究熱心な姿勢は、我々も本当に頼もしく思っている。

今までの検証ではなく、一歩前進して事務事業の仕分け、身近な都留市もお手本になるので、強いリーダーシップの下にぜひ実施していただきたいが。

答弁 町長 私も都留市の事業仕分けは興味を持って傍聴してきた。まずは、事業仕分けの事務手続等総合的に研究していきたい。これを機会に先進事例等をよく研究し、導入について検討していきたい。



古屋一哉 議員

質問 監査委員の今決算の意見書にあるようにステラシアター、かつやま道の駅、西湖いやしの里根場等の施設は町直営で行っているが、指定管理など民間活力を導入し、さらなるサービスの向上を財団も含め検討する必要があると思われるが。

答弁 町長 指定管理など民間活力の導入について、視野を広く、取り組んでいきたい。

質問 八月に毎日のように雷雨があり、道路に相当水があふれ出した箇所がある。長年の課題である河高下を含め雨水対策の基盤整備の考えは。

町長 雨水対策についても重点的な対応をしている。町全域となると費用も相当かかるので、財政状況を見ながら、検討し順次対応していかなければいけない課題であると認識している。

決算特別委員会

質疑応答

委員長 駒 谷 隆 利
副委員長 三 浦 康 夫

一般会計

総務課関係

質問 合併特例債の今年度未発行総額は。

回答 財政係主幹 平成十九年度末で発行済合併特例債は四十八億九、七四五万円。残高は四十四億八九〇五万円である。

質問 返済のピークは。

回答 財政係主幹 起債の発行ピークが二十一、二十二年度で償還ピークは二十四、五年になっている。

管理課関係

質問 防災無線の聞き取りにくい地域の把握は。

回答 管理課長 現在メーカーに依頼して順次直す努力をし、防災行政無線はしっかり町民に伝達する手段として一番早く、一番欠かすことの出来ない手段であるので、順次早いうちに対応していく。

税務課関係

質問 大きな収入未済、不納欠損についての所見。

回答 町長 職員、主幹部門とよく内容を検討し取り組む。

質問 十八年に課税標準額の見直しがあり、現況地目で調べ十九年度決算に入っているが、どのくらいの税収増なのか。

回答 税務課長 概ね三千万円近い増額があった。

福祉推進課関係

質問 保育料の不納欠損、収入未済の特徴は。

回答 児童福祉係主幹 社会情勢の変化等により払えない家庭も若干増えている。しかし、ずるい家庭も多くなっている。また入所要件に該当すると、定員を超えない限り入れなければならぬ。過年度に未収であっても母親の就労は確かに入れて欲しいという要望があれば拒めない状況であり、そういう部分から収入未済となっていることもある。

質問 保育所の給食費負担割合は。

回答 児童福祉係主幹 保育所の給食費は、保育料費に含まれているので徴収はしていない。上九一色は僻地保育所の指定を受けおり、一律料金になっているので、給食費は別途徴収している。

健康増進課関係

質問 理学療法あるいは作業療法の事業内容は。

回答 健康増進課長 理学療法、作業療法は老人保健事業として、理学療法士が年間二十四回、作業療法士が年二十回、六名に対する機能訓練を行った。

質問 芙蓉の湯、健康プラザの入湯税は地域住民の福祉や、町長が自ら住民に使用される目的とした場合、入湯税は免除される。地域住民以外の方の場合は。

回答 健康増進課長 町内に固定資産を保有している人。住民と町外の人との共通利用カードが違い、町民は薄いグリーン、町外者は黄色となっている。

環境課関係

質問 決算におけるごみの処理量はどのくらい増えたのか。ごみが増えているから、ごみ袋の枚数も予定より増えていると解釈するが。

回答 環境課長 ごみ袋の十八年十月からで六カ月、十九年度は十二ヶ月であるのでその差が生じた。ごみ袋に対して周知が徹底し、指定のごみ袋を使っただけで増えた。また、ごみの量は昨年より約八百トンほど増えた。

農林課関係

質問 松くい虫の処理は二十五本、どの辺の松を処理したのか。

回答 農林課長 森林組合と四回調査し、大石、勝山、西湖地区が十一本、浅川、大石、船津地区が七本、河口、浅川地区で三本、船津、浅川地区で四本である。



質問 河口の塵芥処理場の旧焼却炉は今廃屋に

回答 環境課長 有価物やベツトボトル、缶、ビン等は積極的にセンター等に出すようお願いしている。

質問 被害が分散している状況で、赤松が美的景観を作っている部分もあり、その後の状況は。

回答 農林課長 県の担当より

情報収集しているが、被害がだんだん上がってきている。

質問 富士ヶ嶺の木材チップの現状は。

農林課長 富士ヶ嶺のチップは届け出を指導。指導にあたっては、チップを敷く厚さ十センチで指導している。ガイドラインについては、農業委員会事務局が農務事務所と協議し検討している。

質問 何年ぐらい前からいれているのか。

農林課長補佐 十五年前からである。

質問 チップの広さは。

農業委員会事務局長 全体で二十筆、三十二万三千平方メートル。地権者は約十二名である。

観光課関係

質問 花火の経済効果をどのように考えるのか。

観光課長 冬の花火については、宿泊に結びつくケースが多く、観光消費額を算定する基礎数値か

らも地域に対する経済効果は大きい。

質問 公有財産購入で梨川の土地の購入を見送ったが、今後の考えは。

観光課長 まちづくり交付金事業という特定財源があるときの五カ年の期間の中でやりたい。

質問 本栖湖スポーツセンターの調査委託の内容と結果は。

観光課長 サッカー場としての費用がどの程度かかるのか概ねの数値を知るための調査委託だった。

質問 いやしの里施設使用料等から、入場人員とか売上は。

観光課長 入場料は三千二百三十三万六千円。入場者数は十七万四千八百人。駐車料は、一千八百八十四万

三千円。駐車台数は二万六千四百二十六台、地文化創造館、体験工房等合計八棟で九百九十万円である。

都市整備課関係

質問 町営住宅の電気

料の詳しい説明を。

都市整備課長 大嵐町営住宅のエレベーター、街灯を含めた電気料である。

質問 集合看板について今後総合的計画の進め方は。

公園管理係主幹 集合看板は、観光活性化看板の絡みもあり、計画は北岸地区を中心に河口、大石、長浜地区を考えている。

学校教育課関係

質問 学校給食に関して調査されてあるのか、安全なのか。

教育長 山梨県の場合は地産地消で米飯給食のお米は県産米百パーセントということを確認。町もその対象であると回答をいただいている。

質問 小・中

学校適正配置について、現段階での進捗は。

教育長 現在八回実施、次回は十月半ばを予定。一部メンバーが代わり意見を聞く中で慎重に対



応していく。

質問 適正化委員会の答申についてはいつまでに要するのか。

教育長 本年度内にはある程度の方向を出していかなければということ、適正審議会へ答申を受けるのを大体本年度中にしていただきたい旨を伝えてある。

生涯学習課関係

質問 昨年度五千四百十二冊で、今の状況で多いのか少ないのか、今後どのように購入冊数の数字をつかんでいるのか。

生涯学習館主幹 図書館の運営の成功は建物、入館者、資料費といわれている。資料費を減額してしまおうと

利用者は減ると思われる。一千二百万の資料費が維持できれば今以上のアップできる見込

みを持つている。

一般会計総括質疑

質問 決算・予算はきちんとしていかなければいけない。補助金に対する報告の受け方、収入未済の取り組み方、今後に対する今回の決算を受けて今後どのように進めていくのか。

町長 指摘の点痛切に感じており、説明がしっかりとできるような取り組みでいく。

質問 十九年度の中で収納に対して強いリーダーシップ、強化月間というようなものを設けながら進めていく考えは。

町長 今回の決算委員会で、担当部署だけでなく、職員一丸となって取り組んでいきたい。

質問 富士河口湖に生まれてよかったと実感できる医療・福祉の充実。

青年層の定住を促進し、育児負担を軽減するため、乳幼児医療無料化の年齢引き上げについての考えは。

特別会計

国民健康保険関係

質問 一億数百万円の基金しか残っていない。どのような形で基金繰りをするのか目安は。

町長 基金の取り崩し自体がイエローカードと認識している。鋭意バランスが取れる方向性を見出すべく努力したい。

水道関係

質問 水道使用料収入未済に額を減らしていく努力は。

水道課長 地域の水道審議会の協力を得て、未納者に対しては給水停止も視野に入れ訪問する中、随時入れてもらう形を取り、確約書を取りながら鋭意努力していきたいと考えている。

町長 財政をトータル的に見ていく。

議員活動状況報告（抜粋） 6月～9月

6月

26日 鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合臨時議会

7月

1日 山開き祭り神事
山梨県町村議会第2回議会運営委員長会議
国道138号整備促進期成同盟総会

11日 山梨県町村議会第2回広報編集委員長会議
リニア中央エクスプレス平成20年総会

13日 ハーブフェスティバルクロージング

16日 第5回臨時議会
富士山世界文化遺産“町民会議”5日間
(16,17,22,23,25日)

17～18日 山梨県町村議会議長会行政視察研修

17日 富士吉田警察署管内暴力団追放推進協議会総会

22日 山梨県町村議会広報編集委員長
～23日 行政視察研修

28日 町民プール竣工式、インター線開通式

29日 紅葉まつり運営協議会

29～30日 山梨県町村議会運営委員長行政視察研修

30日 国道138号線整備促進期成同盟要望活動

8月

8日 河口湖南中議会全員協議会

11日 富士五湖広域行政事務組合議会運営委員会

18日 山梨赤十字病院運営協議会

20日 富士五湖広域行政事務組合議会定例会

25日 第6回事務調査特別委員会、第11回全員協議会
富士北麓広域市町村圏正副議長会議定期総会

9月

2日 議会運営委員研修(甲府)

4日 議会運営委員会(委員会室)

10日 9月定例会本会議(条例・補正予算)

11日

11日 9月定例会本会議(代表質問 2会派)
～22日 決算特別委員会(委員会室)

24日 9月定例会本会議(委員会報告・追加案件)

26日 9月定例会本会議閉会

お詫びと訂正

第19号の同意案件の表示で、小立財産区管理委員に選任同意されたのは、船津1184番地 渡辺 操氏の誤りでした。お詫びして訂正します。

家族



「おはよう」
「行って来ます」
「おかえり」
「ありがとう」
こんな当たり前の会話の中に家族が心を通わせ、お互いの存

在を認め合い一日一日が重ねられていくのだと思います。
我が家は主人と三人の子どもの五人家族です。中学二年生の長男は家族思いの今の十四才です。日によつては機嫌よく、学校の事・友達の事など話してくれたと思うと翌日には何を聞いても返事さえしてくれない：そんな日の繰り返しですが、大らかな気持ちで見守っています。



娘二人は現在小学六年生。二年生から始めたミニバスケットボールは生活の一部になる程熱心に取り組んでいます。不思議なもので熱烈な応援をしているうちに、親である自分もメンバーの一人であるような気持ちになつてきました。娘達のおかげで私達夫婦の休日の楽しみが一つ増えたのも事実です。

やさない第一歩だと思います。我が家の「パソコン・テレビはリビング一台制度をもう暫くは実践していきたいと思っています。
この「窓」を書くことによつて家族への思い、大切さを見つめ直す良い機会になりました。
私の家族は最高！
富士河口湖町勝山
五一二六ノ十番地
手塚輝美

編集後記

九月定例会は十日から二十六日までの会期でした。定例会の審議内容を皆様にお知らせ出来るようにと、委員全員により編集作業を分担し、取り組んでいます。紙面に制限もあり、すべてを掲載することが出来なかつたことをご理解戴き、主要項目に焦点をおき発行いたしました。
いつの間にか朝夕は肌寒さを感じるような季節になりました。秋の夜長にぜひ一読下さい。そして皆様のご意見をお聞かせください。お待ちしております。
議会だより編集委員一同

議会を
傍聴しましょう!!
次の定例会は12月です。
どなたでも傍聴できます。
日時については議会事務局へ
お問合せ下さい。
電話 〇五五五(七)三二六七



▲河口地区体育祭